



北区議会議員

花見たかし

発行 北区議会・区民のミカタ

Vol 64

区議会レポート

北区はもっとよくなる！ 区民への責任・区政への責任・未来への責任

令和8年を迎え、気持ちも新たに1年が始まりました。

皆さまには北区政に対し、日頃から温かいご支援とご協力をいただいていることに、心から感謝申し上げます。北区としては物価高騰や災害などの懸念があるなか、「区民の命と生活を守る」ため迅速な決断と対策が求められております。今後とも北区の発展と区民福祉向上に向け全力を尽くす所存です。ご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。



やまだ区長に予算要望書を提出

令和8年度予算編成にあたり、区内各種団体からヒアリングを実施し、また多くの区民の方から北区へのご意見、ご要望を伺いながら新年度予算要望書（209項目）を策定しました。

行財政改革や子育て支援策、高齢者の方々が安全に安心して暮らせる地域づくりなど大変多岐にわたる要望書になりますが、多くの要望が実現できるよう取り組みを強化し、皆さまの声を形に変えていきます。



北区の物価高騰対策として約36億円余を計上

（1）物価高対応 子育て応援手当の支給（約9.6億円）

児童手当受給者に児童1人当たり20,000円支給（対象児童数 約47,000人）

（2）物価高騰対応 重点支援地方創生臨時交付金（約25億円）

①区民全員に1人5,000円給付（約367,000人）

②住民税非課税世帯・均等割のみ課税の世帯に対して、1世帯5,000円支給（約54,000世帯）

（例、単身者非課税世帯5,000円+区民5,000円=10,000円）

（3）エネルギーコストの上昇や食材費高騰等の影響を受けている施設（福祉施設、医療機関、子育て施設、公衆浴場等）に対して事業所の規模等に応じた支援（約1.6億円）

コミュニティバス（赤羽西地域ルート案）について

コミュニティバス（赤羽西地域ルート案）については、「地域公共交通会議 赤羽西地域部会」を設置して検討を進めており、このたび運行ルート（案）が出来ました。北区では王子・駒込ルート、田端循環ルート、浮間ルートに続いて4つ目となります。今後は、令和8年1月から地元説明会に入り運行事業者を選定し令和8年度中に試験運行開始の予定です。



民泊について

近年のインバウンド需要とホテルなどの宿泊施設の料金高騰を背景に、民泊サービスが注目されています。一方で、民泊施設周辺でのごみやたばこのポイ捨て、深夜の大声やキャリーケースの騒音、一部のオーナー不在型物件においての近隣住民とのトラブルなど課題が顕在化しています。区内の住宅宿泊事業届出数は、令和4年度末の185件、令和5年度末は266件、令和6年度末は410件と年々増加傾向にあり、苦情件数も令和5年度は22件、令和6年度は53件と増加しています。

民泊施設の増加傾向に伴い生じている、騒音、ごみ、喫煙などの地域の住環境に関わる課題に対応するため、北区では東京都北区住宅宿泊事業協議会を設置し、条例制定に向けた検討を行っています。

児童相談所について



北区の児童相談所等複合施設(子ども家庭支援センターや教育相談センター合築)の竣工は令和8年9月頃の予定で児童相談所の開設は令和9年2月の予定でしたが、建設工事の入札不調が3度ありました。その結果、設計を最初から見直すことになり、開設が当初予定の4年後、令和12年度に延期になります。開設が4年延期になることは困難を抱えた子どもたちへの支援や他区に派遣中の職員の問題などで大きな影響があると考えています。この間、切れ目のない一貫した支援体制を続けながら、一刻も早い開設に向けて取り組んでいきます。写真はすでに運営している豊島区の児童相談所に視察に行きました。里親・養育家庭への取り組みなど参考になり北区にも活かしていきます。

桐ヶ丘区民センター、桐ヶ丘体育館の改築について

(仮称)桐ヶ丘区民センターの新築計画図がまとまりました。図書館やふれあい館、地域振興室、授産場、高齢者あんしんセンターが併設され、令和10年度にオープン予定。また、桐ヶ丘体育館については施設の老朽化が進んでおり、より早い改築を推進していきます。



(仮称)桐ヶ丘区民センター



桐ヶ丘体育館

相撲部屋の誘致に向けて

相撲は日本の伝統文化として、幅広い世代に親しまれております。北区においても小学生を対象としたわんぱく相撲大会が実施されるなど、認知度の高いスポーツであります。そこで北区でも相撲部屋を誘致していこうと他区の相撲部屋を視察させていただきました。誘致することによって地域との交流、また子どもたちや外国人との交流など多くのつながりが増え、地域活性化にもつながってくると思います。さまざまな観点から北区にも相撲部屋の誘致を目指していきたいと思います。



東京2025デフリンピック

「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」として開催されたデフリンピック。記念すべき100周年大会となった「東京2025デフリンピック」が11月26日に閉会しました。日本選手団は金16、銀12、銅23の計51個の史上最多となるメダルを獲得しました。また、陸上競技でメダル3個獲得した北区とゆかりのある山田真樹選手、一緒に写真を撮っていただきメダルも持たせて頂きました。



花見たかし事務所

〒114-0001 北区東十条1-9-1-101

[TEL] 5902-0873

[FAX] 5902-0875